

第64回関東整形災害外科学会
ハンズオンセミナー7 (HO7)

大腿骨転子部骨折に対する
Gamma4 nailを用いた手術手技
～逆刃オウルが不安定型骨折を安定化する～



3月16日 土 14:30-16:00

講 義

14:30-15:00

ハンズオン

15:00-16:00



パシフィコ横浜 会議センター
第6会場 (4階 417会議室)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1丁目1-1



講 師

米澤 俊郎 先生

麻生総合病院 整形外科 関節外傷部長



定 員

15 名

参加費

無料



本セミナーは事前申込制です。
ハンズオン申込には本学会の参加登録(有料)が必要です。
概要・お申し込み方法詳細は裏面をご参照ください。



日本ストライカー株式会社 担当者：鈴木 克彦
P：080 6773 5302 / E-mail：katsuhiko.suzuki@stryker.com



共催：第64回関東整形災害外科学会 / 日本ストライカー株式会社

大腿骨転子部骨折に対する Gamma 4 nailを用いた手術手技 ～逆刃オウルが不安定型骨折を安定化する～

麻生総合病院 整形外科 関節外傷部長 米澤 俊郎 先生

当院では先端が逆向きの特注オウル(以下、逆刃オウル)を用いて大転子を開口している。一般的なエントリー方法では大転子骨片が後方転位しやすいが、逆刃オウルは大転子頂部から開口しアンカリングすることで、転位している大転子を整復・固定できる。主骨片の術前髄内型転位は、近位骨片とともに大転子も一塊に後方転位していることが多いため、大転子の整復により主骨片も一塊に整復される。そのため、一般的に不安定とされる髄内型転位を主骨片の整復操作を行わず安定化することが可能である。

また、ガンマネイルはラグスクリュー形状がテーパ状でスレッドが薄く均一な構造のため、骨頭の中央に設置することで非常に強固な骨頭把持力が得られる。ラグスクリューの把持力を用いて近位骨片の回旋を整復し、大転子も含めた解剖学的整復位を目指している。

当ハンズオンセミナーでは逆刃オウルを用いた大転子開口手技、術前転位と整復の独自理論に基づいた手術テクニックを新しく上市したGamma 4 Nailを用いながら解説する。

お申し込み登録方法

ハンズオンのお申し込みには、関東整形災害外科学会 会員・非会員の先生、共に本学会の事前参加登録が必要です。

以下、学会ホームページ「参加登録・マイページ」より、参加登録をお願いします(学会参加費用10,000円)。

第64回関東整形外科学会ホームページ

<https://convention.jtbcom.co.jp/64ksot/index.html>

学会参加登録後に、下記URLもしくは右記二次元コードより当ハンズオンセミナーのお申込みをお願いいたします。

ハンズオン申込用URL

<https://forms.office.com/r/cWRW4ThAUC>



ハンズオン申込用
二次元コード